

広報
第77号
2023

ふくし さと 福祉の里

発行:岩手県立福祉の里センター

〒022-0006 岩手県大船渡市立根町字田ノ上30-20 電話 0192-27-0294/FAX 0192-27-4386



2023年度 年間事業計画

《主催事業》

【社会福祉従事者等専門研修会】

- ・開催 年5回予定
- ・会場 研修室、ふれあいホール

【岩手県ふれあいポッチャ大会】

- ・開催 6月下旬予定
- ・会場 ふれあいホール

【ニュースポーツ教室】

- ・随時受付

【キャップ・ハンディ体験】

- ・随時受付

《自主事業》

【福祉の里センター杯グラウンド・ゴルフ岩手県大会】

- ・開催 9月上旬予定
- ・会場 大船渡市盛町盛川河川敷公園

【気仙シニア大学】

- ・開催 年10回予定(第4木曜日)
- ・会場 研修室

【岩手県ポッチャ大会】

- ・開催 毎月1回予定(8月を除く)
- ・会場 ふれあいホール



【ほつぷすてつぷソング】

- ・開催 毎月2回予定
- ・会場 ふれあいホール

【サマースクール】

- ・開催 7月下旬
- ・会場 未定

【ウインタースクール】

- ・開催 12月中旬
- ・会場 研修室

【各種創作活動】

- ・随時受付

【芸能ボランティアの会】

- ・随時受付

【美術ボランティア】

皆さまの手作り作品を当センターに展示しております。ご自慢の作品を披露しませんか。作品展示をご希望の方は当センターまでご連絡ください。



【子育て支援「あおぞら」】

当センターの2階に、絵本、プラレゴ、すべり台などを用意しております。お気軽にご利用ください。

◎時間 10時～12時
13時～15時(年中無休)
※12時～13時は換気・消毒のためご利用できません。

◎対象 小学校低学年まで
※保護者付添いでご利用ください。

2023年度

岩手県立福祉の里センター<事業案内>

キャップ・ハンディ体験活動

キャップ・ハンディ体験とは、ハンディキャップを持った方の状況を疑似的に体験することです。障がいのある方の置かれている状況や環境、障がいに対する理解を深めていただくための活動です。対象は小学生以上です。



◎高齢者疑似体験

装具を装着し、高齢者の日常生活の一部を疑似的に体験します。高齢者の気持ちや、どのようなところに困難を感じているかを体験します。
(90分 小学生5年生以上)

車いすに乗り、操作方法、介助方法を学習します。(45分)

◎下肢障がい体験

点字の仕組みを学習し、用具を使って実際に点字を打つ体験をします。
(45分)

☆点字体験

アイマスクをして、全盲の状態を疑似的に体験します。白杖の使い方、介助方法を学習します。
(45分)

◎視覚障がい体験

☆白杖体験

福祉の里センターは、研修や会議、スポーツや宿泊保養などで利用することができます。スロープや障がい者用トイレ、オストメイト用トイレの設置など、高齢者や障がいのある方にも利用しやすい施設です。社会福祉に関する研修・啓発等を行うことで、県民の皆さまの福祉意識の高揚を図る事を目的とした活動をしており、また、各事業は当センター内で実施する他、県内各地域や学校などに出向いての実施も可能です。今年度も、様々な事業を計画しておりますので、ご質問やお気軽にお問い合わせください。

ニユースポーツ教室

ニユースポーツは、年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも楽しむことができるスポーツです。運動量の多いもの、頭脳戦のものなどいろいろな種類があります。

当センターでは、20種類以上のニユースポーツを体験することが出来ます。当センター以外でニユースポーツを希望される場合は、ご希望の場所に指導員が用具を持参し、指導をいたします。ニユースポーツの指導は無料です。

学校の親子行事や子ども会、地区公民館行事、職場でのレクリエーションなど、様々な場面でお楽しみいただいております。

公民館や畳の部屋など、場所を問わずに体験できる競技もありますので、体験を希望される場合は、お早めにご連絡、ご相談ください。

また、用具を無料で貸出しており、用具は数に限りがございますので予めご了承ください。



ふれあいポツチャ大会

当センターでは、障がいのある方を対象とした大会を開催しております。

日頃からポツチャ競技に取り組まれている方々に練習の成果を競う場を提供するとともに、大会を通して交流と親睦を図ることを目的としております。

【対象者】健全者及び障がいのある方



社会福祉従事者等専門研修会

福祉施設等に従事している方を対象に、高齢者支援、児童支援、相談支援など、多岐にわたる内容で研修会を実施しております。

今年度も、より一層の研修内容の充実を図りたいと考えております。

内容の詳細や日時につきましては、決まり次第ご案内いたします。



岩手県ポッチャ大会

月に1回、岩手県ポッチャ協会が主催、当センターが主管で大会を実施し、コロナウィルス感染予防対策をとりながら競技を行っています。

試合方法は予選リーグを行い、上位のチームによる決勝トーナメントで優勝を決定しています。表彰は1位から4位までに賞品を授与しています。

どうぞ、お気軽にお問い合わせください。



【参加資格】

岩手県ポッチャ協会員(非協会員は大会時に登録して出場できません)

競技は1試合3名で行います。1チーム4名まで登録可能で交代出場を認めるものとします。

【参加費】

1チーム 9000円(大会当日に受付でお支払いをお願いします)

グリーンランド・ゴルフ大会

岩手県内のグリーンランド・ゴルフ愛好者が一堂に会しグリーンランド・ゴルフ競技を通じて、親睦と融和を図る事を目的として開催しております。

コロナウィルス感染症の拡大により中止が続きましたが、昨年は気仙地区大会と規模を縮小し、4年ぶりに開催することができました。

今年度も予防対策を講じて開催いたしますので、各地から多くのご参加をお待ちしております。



ほっぷ・すてっぷ・レング

月に2回、月曜日の10時半〜12時まで、季節にちなんだ童謡唱歌や、なつかしい歌謡曲など、いろいろなジャンルの曲を軽く身体を動かしたり、手遊びなどを交えながら、ホールいっばいに歌声を響かせています。

歌声をとおして、心身のリフレッシュをしてみませんか?どなたでも、お気軽に参加できます。

【参加費】

前期・後期 各5000円



気仙シニア大学

第4木曜日を原則として10時から12時まで、自然や歴史、文化、健康など、さまざまな専門分野の講師をお迎えし、講義を行っています。

期間は、5月から翌年2月までの10回とし、翌年度も受講希望される方は継続して受講できます。また、皆勤賞としてささやかな記念品を贈呈しています。気仙管内在住の60歳以上の方であれば、どなたでもお申込みできます。

受講料は1講義につき5000円(障がい者手帳をお持ちの方は免除)です。

現在、令和5年度の受講生を募集しております。知識を深めたい、新しいことを始めたい方など、是非ご入学をお待ちしております。
【締切】令和5年5月11日



サマースクール

気仙地域の小学生と保護者を対象に、野外活動や作品制作を通して、他校児童との交流を図ることを目的としています。

昨年は「なぞとき宝探しゲーム」を開催し、指令室から出された数々のミッションを親子でクリアしながら、ゴールの宝箱を目指しました。

今年度も、夏休みの期間に楽しめる企画を予定しておりますので、みなさんのご参加をお待ちしております。

【対象】気仙在住の小学生親子

ウィンタースクール

気仙地域の親子を対象に、作品制作を通して親子の絆を深めると共に、他校児童との交流と親睦を図ることを目的としています。

これまでも、親子で楽しくアイデア豊富な作品が制作されてきました。

今年度も親子での創作を予定しておりますので、ご参加をお待ちしております。

【対象】気仙在住の小学生親子



2022年度

岩手県立福祉の里センター<事業報告>

社会福祉従業者等専門研修会

社会福祉施設等に従事する方を対象に、3年ぶりに高齢者支援研修を開催しました。「なちゅほ気仙」の方を講師に迎え、「ノーリフトテクノロジーの必要性と目的」の講義と実技を講習していただきました。

今回は、ノーリフト技術の普及を目指し、介護される側だけでなく、介護する側の安全と健康を確保する内容の研修会でした。

また、県内外の業者の方々のご協力で、福祉器具の展示をしていただいたので、沢山の機器や器具に直接触れて体験することが出来ました。

「今まで、力で移動、移乗していたが、ほんの少しの動きと用具の使用で軽々出来たことに感動した。」スライディングボードはあるが、うまく活用出来ていなかったため、改めて方法を知れて良かった。」等、身体の使い方や福祉用具を使用することで予防出来ることを再認識しました。



ニュースポーツ教室

今年度は、親子行事や子ども会、地区公民館からの依頼で様々なニュースポーツ教室を実施しました。スポーツの日に開かれた地区の運動会でニュースポーツを取り入れ企画、指導を行いました。

また、ボッチャ教室を実施しながら大会開催までの支援なども行いました。



里内ニュースポーツ 138件
 移動ニュースポーツ 48件
 定例ニュースポーツ 11件
 合計…197件

キャップ・ハンディ体験

今年度は、小中学生、職業訓練センターを対象に46回のキャップ・ハンディ体験を実施しました。

下肢障がい体験(車いす) 15回
 視覚障がい体験(白杖) 16回
 視覚障がい体験(点字) 7回
 高齢者疑似体験 8回

合計……46回



体験を通して、障がいや高齢者に対する理解を深め、介助方法など改めて広く考える機会となり、体験後には様々な感想が寄せられました。

ウィンタースクール

12/11に保護者と児童5組10名で、細い紙をクルクル巻いて作るペーパーワイリング体験をしました。はじめに、ペーパーの巻き方と基本のパーツから涙型や四角など様々な形のパーツを作る練習をしました。そして、親子それぞれに選んだうさぎやハリネズミ、クリスマスツリーの型紙に、好みの色や形のパーツを自由に並べて、個性あふれる作品を完成させました。「親子で楽しい時間を過ごせた。」と、充実した表情が伺えました。



気仙シニア大学

大船渡警察署生活安全課より、課長の早野洋平氏を講師に迎え、「特殊詐欺の現状と予防策について」講義を行いました。県内の被害状況をはじめ、発生率95%を占める電話がきっかけの被害や、電子マネーやサポート詐欺の手口に対し、「電話をとらない、かけない」意識や、対策の重要性を知ることが出来ました。「周囲との情報交換が必要」「当事者となったら恐ろしい」等、いつ何処で誰が被害に遭うかわからない危機感を改めて持つことができました。

